

SOETSU

から
韓くにの白き太陽



出演◎

篠田三郎 (客演)

高橋征郎

竹内照夫

山梨光國

齊藤尊史

天津民生

神 敏将

塩田泰久

平松敬綱

本廣真吾

岩谷優志

平野 尚

日色ともゑ

船坂博子

石巻美香

中地美佐子

森田咲子

神保有輝美

装置◎ 勝野英雄

照明◎ 前田照夫

衣裳◎ 宮本宣子

効果◎ 岩田直行

舞台監督◎ 風間拓洋

SOETSU

から 韓くにの白き太陽



日色ともゑ



篠田三郎
(客演)



船坂博子



本廣真吾



天津民生



高橋征郎



石巻美香



岩谷優志



神 敏将



竹内照夫



中地美佐子



平野 尚



塩田泰久



山梨光國



森田咲子



神保有輝美



平松敬綱



齊藤尊史

白磁の白は、悲哀の色ではない。
何者にも染まらぬ太陽の白。

美学者・柳宗悦(篠田三郎)は雑器として扱われていた朝鮮白磁の美しさに魅了され、予感に突き動かされるように1916(大正5)年初めて朝鮮に渡った。浅川伯教・巧兄カンミョウジユ弟や宿屋の女将・姜明珠(日色ともゑ)と知り合い、宗悦は朝鮮の美にのめりこんでいく。名もなきものの営み。文化を育む土。おおらかなユーモアと生命力……。そして、失われゆく民族文化のための美術館設立へ。しかし日本統治下の朝鮮では、宗悦の活動は統治政策の一環だと朝鮮人に誤解され、さらに朝鮮独立運動や関東大震災時の痛ましい事件が、人々の間に亀裂を深めていく。様々な矛盾のなかから掴み取った一握りの確信が、やがて宗悦を日本での民藝運動の構想へと導いていく。